



国際ローター第2680地区
Rotary
加古川ロータークラブ



2018-19年度RI会長: パリー・ラシン / 地区ガバナー: 次野 宗司
加古川ロータークラブ会長: 岡田 義則 / 幹事: 水川 典明
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町満之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

平成30年11月13日(火) 曇 No. 18



▲会長の時間



▲高田財団委員長



▲地区財団本條副委員長

会長挨拶

会長 岡田 義則

今日は寂しいお話をしなくてはなりません。井澤会員と松田会員の退会についてのお知らせをいたします。井澤会員は事務局に来られたのですがお会いすることはできませんでしたが、後程お電話でお話をお聞きしました。ご子息と一緒に仕事をされているというお話を伺い、「またロータリーも良いときが来たら、宜しくお願いします」と申し上げました。松田会員には私はお会いすることはできなかったのですが、水川幹事がお話を聞き退会届を受け取らせていただきました。元気でまたお会いできることを楽しみにしています。

さて本日はロータリー財団月間です。国際ロータリー第2680地区ロータリー財団副委員長、資金推進副委員長の本條昇様、そしてポリオプラス小委員会委員長の喜多様ようこそいらっしゃいました。本條様にはこの後よろしく願いいたします。

以前にもお話しいたしましたが、私は曹洞宗長慶寺という地元の小さな寺の役員をさせていただいていて、難解な言葉の御経の教を聞く機会がよくあります。

そんなことからこの年になってあらためてその素晴らしさに感銘を受けています。ロータリーの精神と共通することも数多くあり奉仕の理想にも似た教を「修証義」(道元禅師の言説を訳した禅思想の入門書、5章31節、3704文字からなる経典)から、本日はまず第1章第1節をご紹介します。

【第1節】

生(しょう)を明(あき)らめ死を明らむるは仏家(ぶっけ)一大事の因縁なり、生死(しょうじ)の中に仏(ほとけ)あれば生死なし、但(ただ)生死すなわち涅槃(ねはん)と心得て、生死として厭(いと)うべきもなく、涅槃として欣(ねご)うべきもなし、是(こ)の時初めて生死を離る分(ぶん)あり、唯(ただ)一大事因縁と究尽(ぐうじん)すべし。

〈訳〉

生きるとは何なのか、死ぬとは何なのか。

気付けば大地の上に立っていたこの自分という存在の生き死にを明らかにすることが、真実の道を歩もうとする者にとって何よりも重要な問題である。自分の思いと関係なく生ま

れ、死ぬこの人生は、思いどおりにならない苦しみで満ちている。
しかしその苦の真実、生きること死ぬことの実を悟ることができれば、人はこの世を安ら
に生きることが出来る。

【第5節】〈訳〉のみのご紹介とさせていただきます。

善行、悪行によって生まれた影響力は、自分が生きている間に報いとなって現れることも
あれば、死後、子や孫の時代に報いとなって現れることもある。

善いことをすれば、人はあなたに親切に接するだろう。

あなたの子にも親切にするだろう。

あなたの死後、あなたの孫や曾孫にも親切にするだろう。

行いによって生じた影響力は、時代を超えて継承され続けて報いとなる。

ブッダらの生き方から大切なことを学ぼうと思ったなら、行いと報いの関係をまず学びなさい。

この道理を知らないものは、ただ知らないというだけでは済まず、安易な気持ちで悪行に
手をそめてしまい、その結果として非常に辛い報いを受けることになりかねないからである。

以上、本日の財団についての御講演の前にこのようなお話をしましたのは、善行は時代
を超えて(財団100年さらに)継承され続けて報いとなるこの一説に意味があると思い、ご
紹介いたしました。

会長の時間はこれで終わります。

幹事報告

- 1) 商工会議所女性会より靴下まつりの案内を頂いておりますので、お立ち寄りくださ
います様お願い致します。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|----|--|
| 省 | 略 | ☺ | 本日は貴重な卓話の機会を頂きまして、誠にありがとうございます。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日、お世話になります。ひさしぶりの加古川 RC です。緊張しています。宜しくお願い致します。 |
| 省 | 略 | ☺ | RI 第2680地区ロータリー財団副委員長 資金推進小委員会委員長本條様をお迎えした喜び |
| 省 | 略 | ☺# | 喜多ロータリー財団委員会ポリオプラス小委員会委員長ようこそいらっしやいました。 |
| 省 | 略 | ☺# | 桑田様、ようこそ！楽しんで帰って頂けたら幸いです。 |
| 省 | 略 | ☺# | 高田ロータリー財団委員長今日よろしくお願ひします。 |
| 省 | 略 | ☺# | 三木 RC の矢野謙様ようこそ加古川 RC へ。ごゆっくり楽しんでいって下さい。 |
| 省 | 略 | ☺ | 地区ロータリー財団資金推進小委員会本條委員長様、ポリオ小委員会喜多委員長様、本日はよろしくお願ひします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 三木 RC の矢野謙様をお迎えした喜び。 |
| 省 | 略 | ☺ | 高田地区ポリオプラス小委員会委員、本日はご苦勞様です。 |
| 省 | 略 | ☺ | ロータリー財団委員会の本條昇様をお迎えして。 |

- 省 略 ☺ すべてに申し訳ありません。
- 省 略 ☺ 本條昇様卓話よろしくお願ひします。
- 省 略 ☺ ローター財団副委員長本條様、ポリオプラス小委員長喜多様、本日はご苦勞様です。
- 省 略 ☺ 国際ロータリー第2680地区ロータリー財団委員会副委員長資金推進小委員会委員長本條昇委員長様はじめポリオ小委員会喜多委員長様をお迎えした喜び。
- 省 略 ☺ 2680地区ロータリー財団委員会副委員長資金推進小委員長の本條昇様、本日はありがとうございます。並びに2680地区ポリオプラス小委員長喜多美雄様、ありがとうございます。
- 省 略 ☺# 矢野様、ようこそ加古川ロータリークラブへ。いつもお世話になりありがとうございます。
- 省 略 ☺# 来週例会の卓話をさせていただきます。よろしくお願ひします。
- 省 略 ☺# テーブルの花いただきます。

以上19件 ¥28,000-
本年度累計¥935,000-

出席委員会

- ☆ 今 週 会員数 76 名 出席 44 名 出席免除 18 名 欠席 14 名 75.86%
☆ 欠 席 者 省略
- ☆ 前 々 週 会員数 78 名 出席 49 名 出席免除 20 名 欠席 9 名 84.48%
☆ ゲ ス ト 国際ロータリー第 2680 地区 ローター財団委員会 副委員長
資金推進小委員会 委員長 本條 昇氏(龍野 RC)
国際ロータリー第 2680 地区 ポリオプラス小委員会 委員長
喜多 美雄氏(加古川中央 RC)
- ☆ ビ ジ タ ー 三木 RC 矢野 謙氏

親睦活動委員会

- 例会場当番
11月20日(火) 穴田、鷺尾
11月27日(火) 藤本光、山口



プログラム委員会

本日11月13日(火)	11月20日(火)	11月27日(火)	12月4日(火)
フォーラム ゲスト卓話 「歴史秘話ヒストリア 一人のロータリアンの小さな ひらめきから」 国際ロータリー第 2680 地区 ローター財団委員会 副委員長 資金推進小委員会 委員長 本條 昇氏 ローター財団委員会担当	卓話 「訪問歯科診療 について」 河合 担当	例会変更 プロバスクラブとの 合同例会 午後6時～ 於;加古川プラザホテル ボールルーム 社会奉仕委員会担当	総会・ クラブ協議会 次年度 理事選挙

「歴史秘話ヒストリア 一人のロータリアンの小さなひらめきから」

国際ロータリー第 2680 地区 ロータリー財団委員会
副委員長・資金推進小委員長 本條 昇

1.財団の理念と目標

ロータリー財団の創始者、アーチ・クランフは、The Rotarian の 1929 年 4 月号にこう書いています。

「ロータリー財団は、煉瓦や石の記念碑を建てるものではない。たとえ大理石に碑銘を刻んだとしても、やがては崩れてしまう。真鍮を使ったとしても、いつかは汚れてしまう。だが、人々の心の中に碑銘を刻むなら、我々が刻んだものは永遠に輝き続けるであろう。」

人づくりによって地域と世界をより良く変えていく。それが財団の理念であり、その中心にあるのはロータリーの奉仕の心です。

その目標はポール・ハリスの悲願であった「善意による戦争予防」であり、全ては世界理解と平和のためです。我々が享受している平和は先人の叡智と努力の結晶であり、我々もまた今の平和を次の世代へ引き継ぐ責任があります。我々にとって財団は、最も簡便にして有効な平和貢献のチャンスと言えます。

2.財団の位置づけ

財団の正式名は「国際ロータリーのロータリー財団」です。財団はその名の通り、組織制度上、明確に RI のガバナンスの下にあります。

財団の位置づけは、ロータリアンの奉仕活動を支える公正なる金庫番と言えます。

3.財団の活動と客観評価

財団の活動は、寄付で得た「お金」を「価値」に変えることです。財団が事業を行うのではありません。実際に「価値」を生み出すのは、財団プログラムの下で奉仕活動に汗をかいているロータリアンの献身です。

財団は、慈善団体の格付機関チャリティ・ナビゲーターから、10 年連続で「四つ星」の最高評価を達成し、全米トップ 1%という極めて高い評価を得ています。また米国のテレビ局 CNBC は、2016 年、財団を「世界を変えている慈善団体」の第 3 位に選出しました。ロータリー財団は、世界でもトップクラスの財団として認められています。

4.クランフが描いた「未来の夢」

かつてアーチ・クランフがロータリーと出会って、「世界でよいことをしよう」という小さなひらめきを得ました。それから 100 年、財団は彼が思い描いていたような平和のための基金に発展し、奉仕の第二世紀を迎えました。

クランフの物語は、彼一人のものではありません。これまで財団に関わった全てのロータリアン、財団プログラムの恩恵を受けた全ての人々が物語の主人公です。

物語はこれからも続きます。彼が見通した通り、“Rotary is a movement for the centuries.”です。こうして見ると、我々が名付けた「未来の夢計画」の「未来の夢」とは、クランフの「未来の夢」そのものではないかと思えます。彼が 100 年も前に、未来のロータリアンのために種をまいたように、今度は我々が種をまく番です。

以上